

ポストコロナ社会における都市(まち)とオープンスペースのあり方

2020年10月12日

ランドスケープ経営研究会 (LBA)

ウィズコロナを通じて形成されるポストコロナ社会を考える

- ・ withコロナを通じて形成されるポストコロナ社会を見据え、構築していく行動が必要
- ・ withコロナのまちとオープンスペースの使われ方には、様々な変化が見られている
- ・ 公園をはじめとする緑とオープンスペースは、その役割やあり方が変化

そこで、新たな時代の緑とオープンスペースのビジネスモデル構築をミッションとするランドスケープ経営研究会として、「ポストコロナ社会でのランドスケープ経営」のあり方を皆様とともに考えていくことといたしました。

【前提とする認識】

- 既往の社会課題を解決しつつ、新たな価値観を形成する
- 自然に寄り添い豊かな生活と経済を得る社会
- 都心一極集中は弱まり、郊外、地方、地区が自立
- withコロナのまちとオープンスペースの使われ方の変化
- 農業の役割、特に都市農業の価値の変化
- 安全・安心・レジリエンスの価値の再認識





コロナ禍による**失業・休業**
など、雇用と経営の悪化



観光・レクリエーション
行動の制限による**ストレス**
(市民) / **経営難** (観光業)



飲食店の
経営難



都心オフィス需要の減少、
不動産・建設業の方向転換

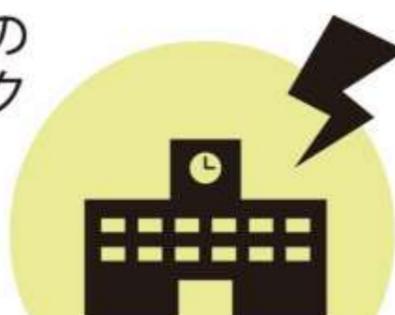


オフィスワークの
変化と**テレワーク**
定着への対応



後継者不足、
外国人研修生の不在
による**農業**の**人手不足**

問題意識



教育環境の変化による
生徒・学生の**不安感**
・**ストレス**



地域コミュニティの**価値**
や**重要性**の認識と
新しく**豊かな生活**への
対応策の**模索**



在宅による
家庭の**負担増**



在宅の**ストレス**と**運動不足**
による**健康不安**



都市農業・都市農地
(生産緑地など)
の**振興**への課題と
具体化**方策**の**模索**



国際食料不足や一部の
地域での**食料危機**の
可能性から、
自給・地産地消の**必要性**

新型コロナウイルスの流行

1

市民生活と新しい生活様式

一人ひとりの基本的感染対策

●感染防止の3つの基本 ●移動に対する感染対策



①身体的距離の確保



②マスクの着用



③手洗い

日常生活を営む上での基本的な生活様式



手洗い



手指消毒



3密（密集・密接・密閉）の回避

日常生活の各場面での生活様式



買い物



公共交通機関の利用



娯楽・スポーツ等



食事



イベント等への参加

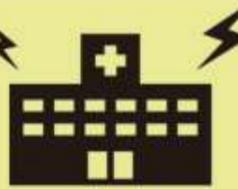
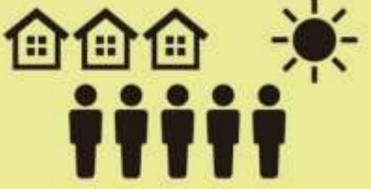
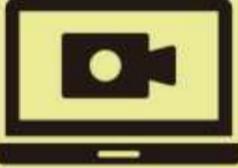
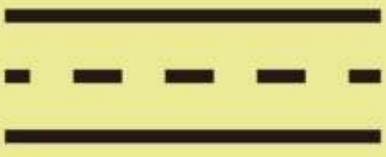
働き方の新しいスタイル



テレワーク



時差通勤

- 2 経済・雇用の縮小 
- 3 医療機関の逼迫 
- 4 イベントなど社会活動の停止 
- 5 学校教育の遅れ 
- 6 移動制限（国内・国外） 
- 7 郊外の昼間人口増加 
- 8 居住地での副業の増加 
- 9 オンラインコミュニケーションの普及 
- 10 公園などオープンスペースの利用増加 
- 11 シェア文化、シェアコミュニティの進展 
- 12 電車から自転車へ（徒歩圏域の拡大） 
- 13 公共空間活用（PPP）の進展 
- 14 郊外の昼向人口増加 



職

リモートワークの定着

- ・ 約5,000人の正社員にアンケート
- ・ 今後もリモートワークを続けたいとする声が7割近くを占める

ITmediaビジネスonline 6/11
https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2006/11/news109_2.html#_rh_pcorotere406.jpg&_ga=2.162572095.280181358.1601280031-1184611852.1601280031

職

「本社オフィス」の減る未来

- ・ 約1,300の企業にアンケート
- ・ コロナ禍を機に在宅勤務やサテライトオフィスへの転換を考える企業が多く傾向

国交省資料「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会・国土の変化について」(6/16)
<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001349300.pdf>

食

座席数の削減により 経営に苦しむ飲食店

- ・ 社会的距離を守るための席数制限
- ・ 収益が出にくく、経営難に陥る飲食店が急増
- ・ 客単価の高い飲食店は特に厳しい状況に

PR TIMES VSコロナ時代の飲食業界ニューノーマル意識調査 6/26
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000053.000023564.html>

食

“老舗”や“名店”の 廃業危機

- ・ 客足が遠のいたことや席数制限により収益が戻らず“老舗”や“名店”でも廃業する事例も生じた
- ・ 特に都心部や大学近辺ではリモートの推進で厳しい状況に

NHKニュース 「コロナに負けた」老舗の洋食店が閉店 東京 葛飾区 5/25
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200525/k10012444291000.html>

食

テイクアウトへの適応

- ・ 外出自粛や席数制限で利益が出ない
- ・ 多数の飲食店がテイクアウトに急遽対応した

PR Times 6/20

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000056.000024845.html?utm_source=BenchmarkEmail&utm_campaign

食

広場空間の飲食スペース化 (リトアニア)

- ・ リトアニアでは、広場空間の利用が解禁
- ・ 飲食店の座席スペースとして活用
- ・ リスクを下げつつ飲食店の営業をサポート

DEAS FOR GOOD 5/12

「街全体をカフェに。飲食店が社会的距離を保ちながら営業するための、リトアニアの工夫」
<https://ideasforgood.jp/2020/05/12/outdoor-dining-vilnius-lithuania-pandemic/>

食

道路空間を使用した 食とオープンスペースの 社会実験の広がり(日本)

- ・ オープンエアで屋内よりリスクが少ない
- ・ にぎわいと地域経済の活性化

河北新報 2020/6/17

https://www.kahoku.co.jp/tohokunews/202006/20200617_13012.html?utm_source=BenchmarkEmail&utm_campaign

食

フードトラック 都心から住宅街へ

- ・ 外出自粛により都心のランチニーズが減少
- ・ 一方、居住地ではランチニーズが増加した
- ・ フードトラックは需要の高まった居住地で営業し、地域の食のニーズに応えた

はじめてのキッチンカー <https://foodtruck.co.jp/hajimete/covid02/>

流

飲食物の配達業務広がる

- ・ タクシー業界は外出自粛で客足の低迷
- ・ 対策として飲食物の配達を始めた

中部経済新聞 5/25

https://www.chukei-news.co.jp/news/2020/05/25/OK0002005250101_01/

流

フードデリバリーの増加

- ・ 外食デリバリー市場の伸び率はコロナ禍でさらに伸びている
- ・ 4～5月の注文数は昨年の1.5倍の増加

朝日新聞デジタル 6/23 <https://www.asahi.com/articles/ASN6J5RKYN6JPLFA004.html>

農

地産地消が広がるドイツ

- ・ コロナ禍でも安定した食料供給
- ・ 地元の農産物の消費が増加した
- ・ 生産者側の地域住民への意識も高まった

ドイツニュースダイジェスト

<http://www.newsdigest.de/newsde/news/panorama/11047-2020-07-01/>

農

地域の農の重要性を再認識

- ・ パンデミックで輸入や物流に不安
- ・ 地域の農地からは安定して供給される
- ・ 地域で食べ物をつくる大切さを再認識

日本農業新聞 4/9 <https://www.agrinews.co.jp/p50504.html>

農

食と農を通じた 地域コミュニティの見直し

- ・ コロナ後、地域の交流が減少
- ・ 地域のつながりの再生を目指して若手農家がファーマーズマーケットを定期的を開催
- ・ 地域住民だけでなく地域の飲食店などとの関係構築を目指す

今日はマルシェびより9/20 <https://www.sankeibiz.jp/econome/news/200317/ecc2003171325002-n1.htm>
ソメイノファーマーズマーケットHP <https://www.someino.com/>

農

都市農業の価値認識が向上

- ・ 都市住民の半数以上が「都市農業の役割が高まっている」と回答

日本農業新聞 2020/7/19 <https://www.agrinews.co.jp/p51394.html>

農

農とひとをつなぐ マッチングアプリ

- ・ 近くの農場や直売所の情報を得られる「YACYBER」
- ・ 人手の欲しい農場と働きたい人を1日からマッチングするアプリ「Daywork」

など多数のアプリが登場している

YACYBER <https://yacyber.jp/about>
デイワーク <https://day.work>

農

農作業が都市民の副業に

- ・ 農作業に興味を持つ都市住民は多い
- ・ 副業として農作業を手伝う新しい働き方
- ・ 低頻度で働けて、収入も得られる
- ・ 仕事のマッチングアプリも登場している

ハタケト 19/11/20 <https://hataketo.com/category/person>
デイワーク <https://day.work>

健

公園利用の増加と懸念の拡大

- ・ スポーツ施設の閉鎖で公園利用が増加
- ・ ストレス発散や運動不足解消に貢献
- ・ 利用者急増で感染拡大が懸念される
一部では閉鎖も

写真は自粛期間中の駒沢オリンピック公園

サンケイBiz 5/1 <https://www.sankeibiz.jp/econome/news/200501/ecb2005010645003-n1.htm>

健

「新しい生活様式」を心がけて公園をつかおう！…4つのポイント

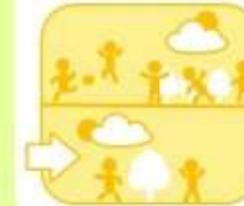
- 新型コロナウイルス感染症に備えた「新しい生活様式」の中では、心と体の健康を保つため、体を動かしたり、屋外でリフレッシュすることも大切です。
- 以下の4つのポイントに気をつけ、マナーと思いやりを大切に、身近な公園を利用しましょう。

1. 体調が悪いときは利用を控える



- ☑ 発熱、咳、のどの痛みなど体調不良の際は外出を控えましょう

2. 時間・場所を選び、ゆずりあおう



- ☑ 混んでいると感じたら時間を変えるか別の公園を探しましょう
- ☑ 利用する時間はいつもより短めにしゆずりあいましょう

3. 人と人とのあいだをあけよう



- ☑ 他の利用者とは、できるだけ2m（最低1m）離れましょう
- ☑ 十分な距離をあけられる時は、マスクをはずしましょう

4. こまめに手洗いしよう



- ☑ みんながよく触れる場所に触ったあとは手洗いしましょう
- ☑ 家に帰ったら、まず手と顔を洗いましょう

※この資料は、「新しい生活様式」を踏まえた公園利用の基本的なポイントを示したものです。具体的な公園の利用については、各公園や地域の状況に応じて判断していただく必要があります。利用者のみならずおかれては、各公園の管理者から示されている注意事項等も十分ご確認のうえ、ご利用ください。

国交省から公園の適切な利用法が提言される

- ・ 利用者急増で公園も危険視されるように
- ・ 健康維持の面ではやはり公園ストックの活用は重要
- ・ 適切な公園利用のポイントが国から提言

国交省HP 8/7 https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10_hh_000345.html

健

もしかしてフレイル?

フレイルをご存じですか? 年をとって体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態を指します。そのまま放置すると、要介護状態になる可能性があります。大事なことは、早めに気づいて、適切な取組を行うこと。そうすれば、フレイルの進行を防ぎ、健康に関わることができます。



こんな傾向はフレイルかもしれません

- ・おいしくものが食べられなくなった
- ・疲れやすく何をしても面倒だ
- ・体重が以前よりも減ってきた

フレイル予防の3つのポイント

フレイル予防は日々の習慣と結びついています。栄養、身体活動、社会参加を見直すことで活力に満ちた日々を送りましょう。

栄養

食事の改善

食事は活力の源です。バランスのとれた食事を3食しっかりととりましょう。また、お口の健康(口腔ケア)にも気を配りましょう。

フレイル予防

身体活動

ウォーキング・ストレッチなど
身体活動は筋肉の発達だけでなく食欲や心の健康にも影響します。今より10分多く体を動かしましょう。

社会参加

趣味・ボランティア・就労など
趣味やボランティアなどで外出することはフレイル予防に有効です。自分に合った活動を見つけてみましょう。

フレイルの懸念

- ・ 外出自粛で運動や交流が減少
- ・ 介護や病気にほど近い「フレイル」の状態にある人の増加が懸念される
- ・ 改善には運動・交流のほか“食”も重要

厚労省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/yobou/index_00013.html

健

#NatureNeverCloses 自然はいつでも待っている
新型コロナウイルスに負けないで、公園から元気をもらおう。

外にいると気分が変わり、創造力も湧く。

外に出られないときは、身近に自然を、植物を触ったり、外を眺めたりしよう。

外にいると心も落ち着き、ストレスも減って、元気が出るよ。

各国の指示やガイドラインが最優先です。
WUPは地域によって事情が異なることを理解し、指示を遵守することを前提に、この声明を出しています。

WORLD URBAN PARKS
WUP(世界都市公園会議)

コロナ禍での公園利用のしかた WUPからの提案

- ・ 遊具などには触らない、人と間隔をとる、などの適応策を提案
- ・ 健康維持のための公園利用促進を訴える

世界都市公園会議HP <https://worldurbanparksjapan.jp/?activities>

健

スポーツ施設での感染拡大と閉鎖

- ・ 2月末に初めてスポーツクラブでクラスターが発生
- ・ 密閉空間の危険性が明らかになった

NHK 3/3

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200303/k10012311891000.htm>

日テレNEWS24 2/25

https://www.news24.jp/articles/2020/02/25/07600495.html?utm_source=news24&utm_medium=featurelink&utm_content=600452&utm_campaign=n24_acquisition

健

屋外スタジオをつくり再開

- ・ 感染対策として屋上にスタジオ新設
- ・ オープンエアで換気が良く、リスク低減と利用者の安心につながった
- ・ 「夜風が気持ちいい」と利用者から好評

中京新聞 6/25 <https://www.chunichi.co.jp/article/78047>

健

ゴルフの新規顧客が増加

- ・屋外の広大な空間で行うのでリスクが低い
- ・リモートワークにより余暇時間が増大
- ・初心者向けのプレー様式を導入
- ・レジャースポーツとして若年層が他のアクティビティから移行

PR TIMES 9/29 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000236.000006485.html>

観

マイクロツーリズムの実例 (東京都大塚)

- ・テイクアウトを楽しむ旅
- ・ガイドも在駐
- ・まちをめぐる過程で魅力に触れる、再発見

Harumari TOKYO <https://harumari.tokyo/49139/>

食 職

街路空間を公園化する社会実験

- ・ 2019年に続く丸の内仲通りでの社会実験
- ・ 道路上に芝生を敷き憩いの空間を創出
- ・ 屋外オフィスとして木陰・Wi-Fi・電源提供

MARUNOUCHI STREET PARK <https://marunouchi-streetpark.com>

PR TIMES 7/21 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000068.000016002.html>

amuzen <https://jp.amu-zen.com/marunouchi-street-park-2020/>

食 流

貨客混載で変わる食の流通

- ・ 長距離旅客バスの空トランクに各地の産品を“あいのり”
- ・ 新宿3丁目でマルシェやカフェを展開
- ・ 都市と産地が近づく新しい関係を創出

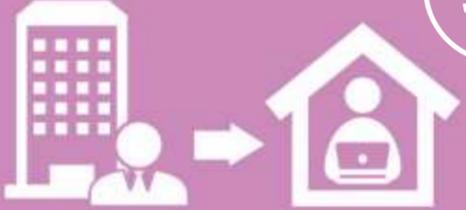
バスあいのり3丁目テラス <http://www.ainoribin.com/3chometerrace/>

あいのり便 <http://www.ainoribin.com>

食品産業新聞社 9/8 <https://www.ssnp.co.jp/news/foodservice/2020/09/2020-0908-1554-15.htm>

新宿経済新聞 9/2 <https://shinjuku.keizai.biz/headline/2925/>

社会現象（具体事象）

<p>飲食業のテイクアウト、宅配、フードトラック利用拡大</p> 	<p>家庭の食材（野菜）需要が増加</p> 	<p>飲食店の席数が減少</p> 	<p>農と食、農と健康など、マッチングシステムの進展</p> 	<p>農に関わる余暇や副業への注目</p> 
食		農		
<p>都市農業・地産地消への注目（需要増→人手不足）</p> 	<p>物流の変化（個配の増加）</p> 	<p>デリバリーシェアリングの普及</p> 	<p>テレワークの普及</p> 	<p>対面コミュニケーションの不足</p> 
流		職		
<p>観光業の打撃（レジャー施設、宿泊施設）</p> 	<p>居住する地域への関心の高まりと新たな発見の増加</p> 	<p>ウォーキング・ランニング等身近なオープンスペースでの健康運動利用</p> 	<p>スポーツジムスタジオの利用制限</p> 	<p>テレワークによる健康二次被害（精神的・身体的）</p> 
観		健		

新型コロナウイルス感染症による道路占用許可の緊急措置について (20200618)

—国土交通省道路局路政課—

緑とオープンスペースをフル活用し、新型コロナに負けない健康的なライフスタイルへ～身近な公園利用の4つのポイント：体調、ゆずりあい、距離、手洗い～ (2020807)

—国土交通省公園緑地・景観課—

新型コロナ危機を契機とした街づくりの方向性の検討について (20200831)

—国土交通省まちづくり推進課—

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等の皆様へ
地方公共団体等と連携して申請すると
テイクアウトやテラス営業などのための道路占用の許可基準を緩和します

国土交通省では、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等の皆様を支援するための緊急措置として、地方公共団体と地域住民・団体等が一体となって取り組む沿道飲食店等の路上利用の占用許可基準を緩和することとしました。
また、地方公共団体に対しても同様に取り組んでいただけるよう要請しています。



イメージ(佐賀県より提供)

「新しい生活様式」の中で、今こそ公園の力が必要！

現在、「新しい生活様式」の定着が進んでいますが、感染予防のためには、一人一人の心と体の健康を保つことも重要です。感染症対策による活動制限・運動不足の長期化による影響として、ストレス蓄積、体重増加、生活習慣病の発症・悪化、腰痛・肩こり・疲労、体調不良なども指摘されてきています(コロナ禍の健康二次被害)。新型コロナウイルスに負けない健康的なライフスタイルを支えるため、今こそ、全国約11万箇所(1人当たり約10㎡)ある公園ストックの活用が求められています。

4つのポイント：体調、ゆずりあい、距離、手洗い

「新しい生活様式」を心がけて公園をつかおう！…4つのポイント

- 新型コロナウイルス感染症に備えた「新しい生活様式」の中では、心と体の健康を保つため、体を動かしたり、屋外でリフレッシュすることも大切です。
- 以下の4つのポイントに気をつけ、マナーと思いやりを大切に、身近な公園を利用しましょう。

1. 体調が悪いときは利用を控える

- 発熱、咳、のどの痛みなど体調不良の際は外出を控えましょう

2. 時間・場所を選び、ゆずりあおう

- 混んでいると感じたら時間を変えるか別の公園を探しましょう
- 利用する時間はいつもより短めにしゆずりあいましょう

3. 人と人とのあいだをあけよう

- 他の利用者とは、できるだけ2m(最低1m)離れましょう
- 十分な距離をあけられる時は、マスクをはずしましょう

4. こまめに手洗いしよう

- みんながよく触れる場所に触ったあとは手洗いしましょう
- 家に帰ったら、まず手と顔を洗いましょう

※この資料は、「新しい生活様式」を踏まえた公園利用の基本的なポイントを示したものです。具体的な公園の利用については、各公園や地域の状況に応じて判断していただく必要があります。利用者のみなさまにおかれは、各公園の管理運営がなされている注意事項等も十分ご確認の上、ご利用ください。

3月の公園利用者数は前年比で増加



(出典) 都立狭山公園、都立武蔵国分寺公園、都立野川公園のデータから国土交通省都市局作成

新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性(イメージ) 国土交通省

- 人々の働く場所・住む場所の選択幅を広げるとともに、大都市・郊外・地方都市と、規模の異なる複数の拠点が形成され、役割分担をしていく形が考えられる。
- 複数の用途が融合した職住近接に対応し、様々なコース、変化に柔軟に対応できるようなまちづくりが必要。



今回の緊急措置のポイント	
内容	① 新型コロナウイルス感染症対策のための暫定的な営業であること ② 「3密」の回避や「新しい生活様式」の定着に対応すること ③ テイクアウト、テラス営業等のための仮設施設の設置であること ④ 施設付近の清掃等にご協力いただけること
主体	地方公共団体又は関係団体※1による一括占用※2 ※1 地元関係者の協議会、地方公共団体が支援する民間団体など ※2 個別店舗ごとの申請はできません。 お住まいの地方公共団体等にご相談ください。
場所	道路の構造又は交通に著しい支障を及ぼさない場所 ※ 歩道上においては、交通量が多い場所は3.5m以上、その他の場所は2m以上の歩行空間の確保が必要です。 ※ 沿道店舗前の道路にも設置可能です。
占用料	免除(施設付近の清掃等にご協力いただけている場合)
占用期間	令和2年11月30日まで

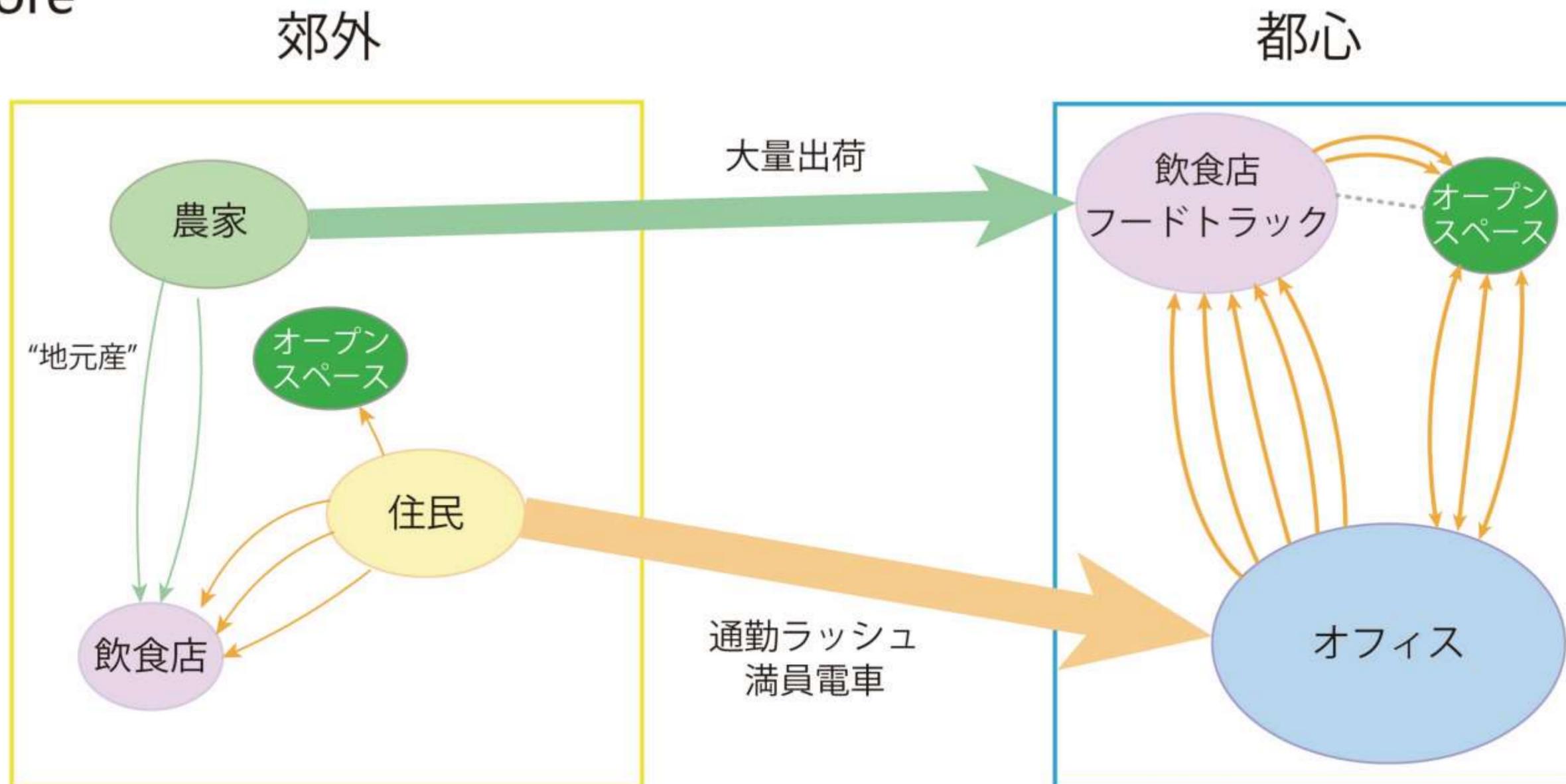
今後、withコロナ時期に可能な公園（屋外）アクティビティの許容範囲が具体的に示されると仮定



その上で、以下の仮説を提示

コロナ禍で変化する「まちと人・食・農」の関係

Before



コロナ禍

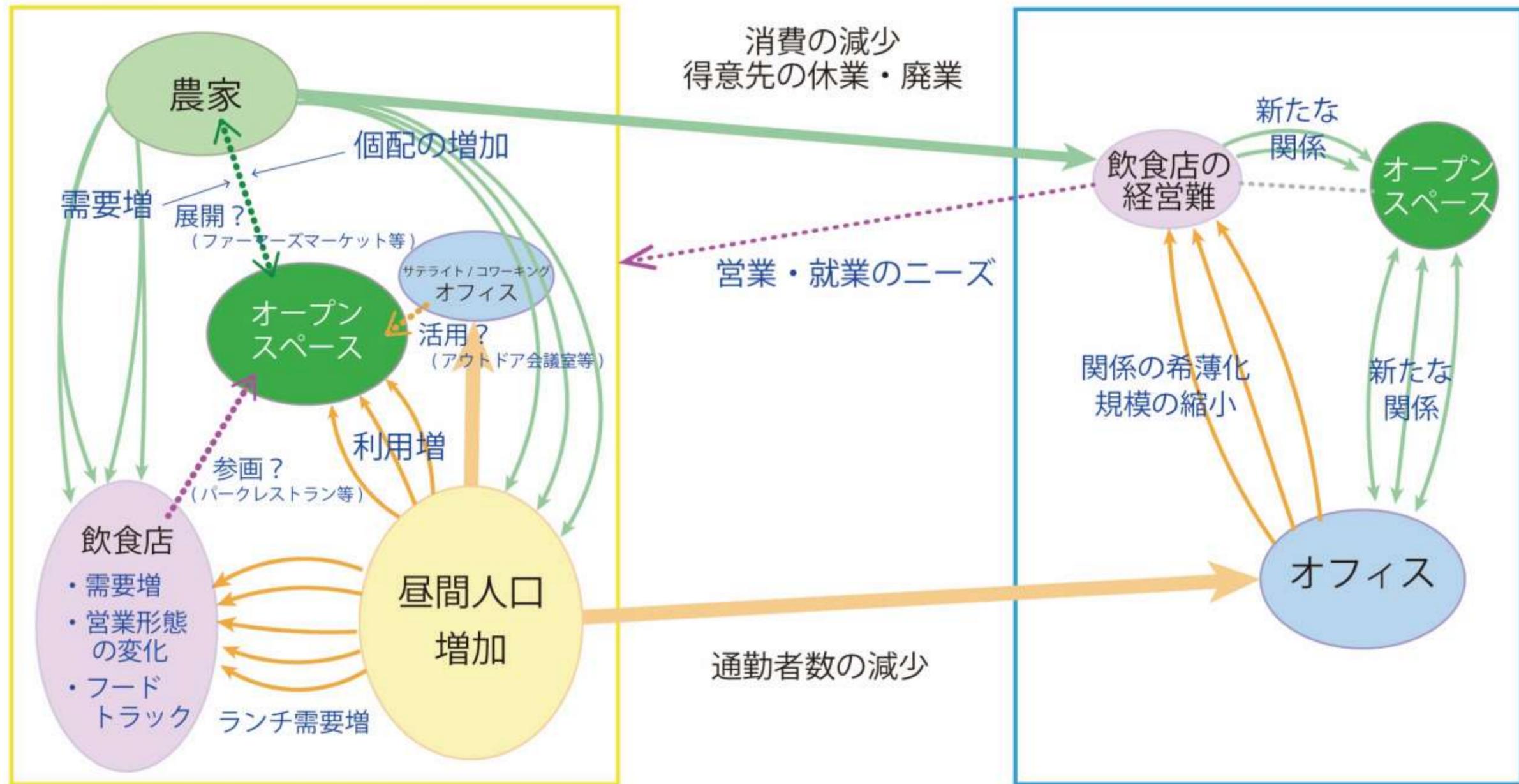


コロナ禍で変化する「まちと人・食・農」の関係

After

郊外

都心



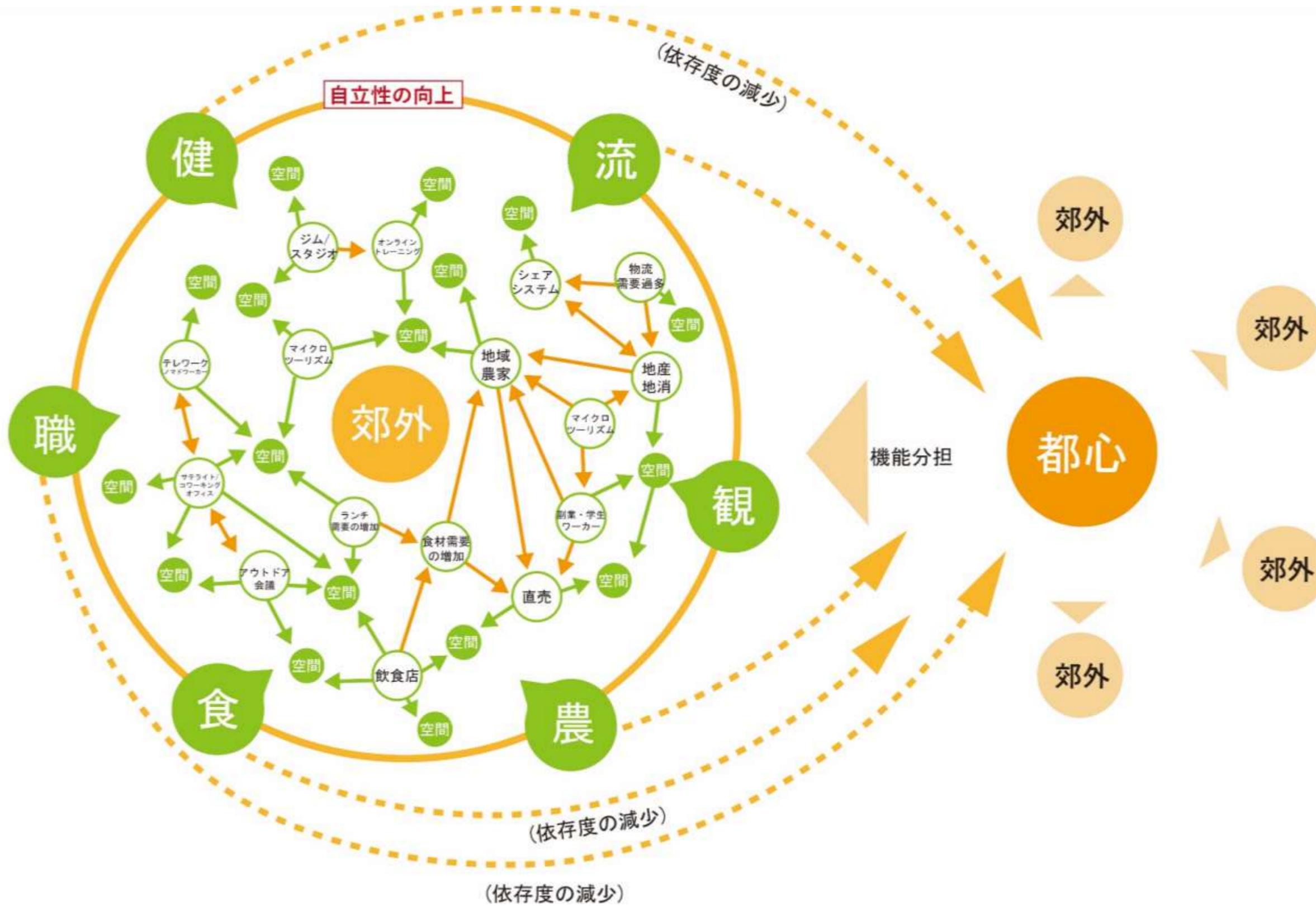
食と農の需要増をオープンスペースが支える

オープンスペースの価値向上



- ※緑とオープンスペース
- ①公共空間（道路・公園・河川空間など）
 - ②都市農地
 - ③民有緑地

郊外都市の役割の変化 ⇒ 自立性の向上 ⇒ 緑とオープンスペースの活用が有効



コロナ禍で起きた社会現象

緑とオープンスペースの役割

社会課題解決の中心的舞台へ

〇〇でも自宅でもない第3の居場所

= サードプレイス

- 食 飲食店でも自宅でもない
- 農 農地でも自宅（家庭菜園）でもない
- 職 会社でも自宅でもない
- 健 ジムでも自宅でもない
- 流 物販店でも自宅（ネット通販）でもない
- 観 観光地でも自宅でもない

ポストコロナ社会でのランドスケープ経営の具体的事業イメージ

食	飲食できるテラス席（飲食店からデリバリー）	地場野菜の直売	パークレストラン	BBQ	キッチンカー
農	遊休農地の法人一括経営	ワークシェア（副業ワーカーや学生）農業	体験農園	福祉農園	健康プログラム
職	テレワーク（Wifiと居場所の整備）	アウトドア会議室	副業ワーカーのマッチングアプリ		
健	スポーツジムによるアウトドア利用	医療連携による健康プログラム	ランニング環境整備	サイクルポート	
流	地元運営のデリバリーシェアリング	直売流通システム	デリバリーマッチングアプリ		
観	マイクロツーリズム計画	地域資源発掘	オープンスペースネットワーク	サイクリング環境整備	グランピング

さらに、



一定エリア内オープンスペースの「包括的指定管理」



指定管理者が、市民、事業者、行政をつなぐ「中間支援組織」に



まちづくり・エリアマネジメントへの発展



波及効果

魅力的でウォーカブルな都市

空き地・空き家対策

洪水など災害に強いまちづくり